

	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
11月	996	482	810	1	5	2,294	1,561	58	194	154	129	515	4,905
累計	5,782	2,964	4,992	609	38	14,385	9,377	285	1,808	1,228	808	4,754	32,645

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

📄 今月のレファレンス記録票から

分類

質問と内容

Z/ナ 永井荷風の出生地は、岩波書店の『荷風全集』の年譜などで、「東京市小石川区…」と記載されているが、明治12(1879)年には東京市はまだ存在してなかったのではないか。出生地に「東京府」と記載されている資料はないか。

『角川日本地名大辞典 13 東京都』（「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編 角川書店 1978）p. 494によると、「東京市」は「明治22年5月1日～昭和18年6月30日まで旧東京府に置かれた市」。『近代作家研究事典 改訂版』（近代作家研究事典刊行会／編 桜楓社 1985）p. 268で紹介されている永井荷風の年譜が掲載された資料7冊を確認したが、「東京府」と記載されているものはなかった。東京府の記載が確認できたものは、『図説永井荷風』（川本三郎、湯川説子／著 河出書房新社 2005）p. 109の略年譜が「東京府小石川金富町」。また、同資料には荷風の小学校卒業証書の写真が掲載されており、「尋常小学科ノ卒業ヲ證ス 明治22(1889)年4月4日 東京府黒田小学校長…」とある。他に、『永井荷風 断腸亭東京だより、生誕135年・没後55年』（河出書房新社 2014）p. 188の略年譜も「東京府」と記載あり。

375.8 古典作品は何年生で初めて学ぶのか。また、その内容は決まっているのか。

「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編」（文部科学省 平成29年7月）
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_002.pdf 2020.11.28 確認 p. 126の「我が国の言語文化に関する事項」の「伝統的な言語文化」の各学年の内容の中で、「古文」「古典」と明示しているのは、第5学年及び第6学年。作品の指定はない。

543.4 お化け煙突について知りたい。

火力発電の資料には掲載がなかった。Webで検索したところ、お化け煙突とは、かつて足立区にあった千住火力発電所の四本の煙突のこと。『みる・よむ・あるく東京の歴史 8 地帯編』（池享／ほか編 吉川弘文館 2020）p. 34「工場地化する東京近郊の河川沿岸」の中で、「お化け煙突」について解説があり、「一九二五年、南足立郡千住町堤外西耕地（現足立区千住桜木一丁目十三番周辺）に、東京電燈株式会社（のちの東京電力）が千住火力発電所を稼働させました。この発電所の四本の煙突は菱形に配置され、見る角度によって一本から四本に変化することから「お化け煙突」という通称が生まれました。」との記載あり。ただし、『東京電力三十年史』（東京電力社史編集委員会／編纂 東京電力 1983 千葉県立西部図書館所蔵）p. 64及び足立区立郷土博物館のHP（<https://www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/chii kibunka/hakubutsukan/shiryo-obakentotsu.html> 2020.12.11 確認）の「おばけ煙突」の項では、大正15(1926)年1月に建設と記載されている。なお、同HPには、煙突が1本から4本までそれぞれに見える写真がある。また、「老朽化と効率化のため昭和38(1963)年に発電所が解散され、翌年秋から解体工事を実施、11月末には完全に姿を消してしまいました。」とあり、現在は存在していない。

→TOPICS



I/F8 市川市で、地域の外国人の子どもへの支援について、自治体や日本語教室以外で行っていることを知りたい。外国人の子どもを支援している NPO 等の活動団体や、移民コミュニティ、その他のリソースについて書かれている文献等はないか。

図書館の資料には掲載がなかった。市川市が市民活動の支援及び活性化のために開設運営している Web サイト「いちかわボランティア・NPO Web」(<http://ichikawa.genki365.jp/> 2020. 11. 26 確認) では、登録されている団体の活動カテゴリ毎の検索ができ、「国際協力の活動」で 11 団体が該当する。そのうちのひとつ「バディーズ」は、市川市社会福祉協議会によると子どもと一緒に参加できるグループとのことだった。

市川市国際交流協会、市川市社会福祉協議会、また市川市役所こども政策部こども家庭支援課、ボランティア・NPO 課、国際政策課に問い合わせたが、文献・資料等は確認できなかった。

他にもこんな質問ありました (クイック・レファレンスから)

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など
593.5	自分で服の手入れをするのに参考になる資料はないか。	⇒『クリーニングのプロが教える家庭でできる洋服の洗い方とお手入れ』(古田武/著 マイナビ 2012)、『今さら聞けない洗濯の基本 愛用品を守るための洗濯方法、教えます。』(樫出版社 2016)
753.3	ペルシャ絨毯の絵柄がわかる資料を探している。	⇒カラー写真で絵柄が豊富に掲載されているのは、『ペルシャ絨毯文様事典』(三杉隆敏, 佐々木聖/編著 柏書房 1990) デザインにより様式別に分類、『現代のペルシャ錦』(セイエド・モルテザ・アラスト/著 京都書院 1994) 図案と意匠を 20 種に大別したパターン (模様) 別に掲載。
759	河口湖にある人形美術館の人形作家の本を見たい。	⇒Web 検索より河口湖にある「河口湖ミュージアム 与勇輝館」が創作人形作家・与勇輝の作品を常設展示する美術館。『人形 与勇輝作品集』(与勇輝/著 川人忠幸/撮影 求竜堂 1985)、『与勇輝の世界』(与勇輝/著 宮沢嘉彦/撮影, 河口湖ミュージアム-与勇輝館/編集 彩鳳堂企画 1996) などを紹介。
914.6	井上ひさしの「市川通いの理由」を読みたい。	⇒『月刊いちかわ 2009 年 4 月号』(エピック) p. 28-29 の連載「父と娘の往復書簡」に掲載あり。この連載をまとめた『井上ひさしから、娘へ 57 通の往復書簡』(井上ひさし, 井上綾/著 文藝春秋 2017) を提供。
E	保育園児向けの手洗いや歯みがきの絵本・紙芝居はないか。	⇒絵本『むしばになったどうしよう』(かこさとし/ぶん・え フレーベル館 2010)、紙芝居『さんじょう! てあらいかめん』(よしむらあきこ/作・絵 教育画劇 2020)、『コンちゃんのかぜようじん かぜの予防』(大久保宏昭/作・画 教育画劇 1996)
E	暗いところで光る絵本が見たい。	⇒『トリックオアトリート! ハロウィンのえほん』(岡村志満子/作 くもん出版 2016)、『メリーメリークリスマス! ひかるえほん』(岡村志満子/作 くもん出版 2017)。暗いところで光って見える、蓄光インクを使用したページがある。

TOPICS お化け煙突と内藤多仲

「お化け煙突」のあった千住火力発電所の設計者は、東京タワーを設計した、塔博士の異称をもつ内藤多仲(1886-1970)です。煙突は高さ 83 メートルに達し、内藤が設計した東京タワー(333 メートル)が昭和 33(1958)年に完成するまで、東京都区部で最も高い構造物でした。内藤多仲は、東京タワーの他、名古屋テレビ塔、通天閣(二代目)、別府テレビ塔(現別府タワー)、札幌テレビ塔、博多タワー(現博多ポートタワー)の計 6 つの放送塔・観光塔の設計を手がけ、街の風景を変えていきました。

なお、この発電所は千住に建設されましたが、建設候補地としていくつかの地域があげられており、市川(千葉県)も候補地の一つとなっていました。(典拠: 参考資料①p. 34) ただし、市川のどこの場所だったかなど詳しいことは残念ながらわかりませんでした。